

## 経鼻的胃内視鏡検査＝鼻から入れる胃カメラ

外径5.9mmの細いスコープが開発され、鼻から胃カメラを挿入する事ができるようになりました。口から胃カメラを入れると舌根部（舌の付け根）にスコープがあたり圧迫刺激するので「オエッ」となりますが、鼻から入れるとそれがないのが楽です（図参照）。

また、検査中モニターに映し出される自分の胃の映像を見ながら検査医と会話ができます。

### 検査の方法



- 1 口からの胃カメラと同様に胃の中の泡をなくす薬を飲みます。
- 2 鼻の孔に鼻腔を広げる薬を入れます。
- 3 麻酔薬のゼリーを鼻の孔に注入し、麻酔薬のついた柔らかいビニールの管を鼻に入れ鼻を麻酔します。のどにも軽く麻酔をします。※注射ではなく、「塗る」麻酔です。
- 4 口からのカメラと同様に検査のベッドに体の左側を下にして横になります。

### ご注意

- 鼻の麻酔と検査時に、鼻に違和感もしくは痛みを感じる場合があります。
- 鼻腔が狭いためスコープが挿入できないことがまれにあります。
- 検査後に鼻出血をおこすことがまれにあります。ほとんどの鼻出血は、鼻の圧迫で簡単に止まる軽いものです。
- 健康診断としてスクリーニングに使用するには、最適な検査方法ですが、治療が必要とされる方は、口からの普通の胃カメラが適切です。